

# 2021年3月期 決算概要

2021年5月13日



パンチ工業株式会社

(証券コード: 6165 東証第一部)

# 2021年3月期 決算ハイライト

日本は復調、中国は堅調を維持し、減収となるも増益を確保

売上	連結	連結売上高は、前期比91.8%、28億円減の324億円。
	日本	前期比84.7%の123億円。 自動車関連の低迷が影響大。但し、下期は復調気配。
	中国	前期比100.3%の168億円。 COVID-19で落ち込んだ1Qを、以降、電子部品・半導体の好調でカバー。
	東南アジア	前期比89.7%の13億円。 4Qは回復傾向にあるものの、マレーシア以外は低調。
	欧米他	前期比77.1%の18億円。 欧州向け輸出は4Qに復調気配を見せたが、米州は低調。
利益		営業利益は、前期比193.0%の1,613百万円 経常利益は、前期比235.1%の1,676百万円 当期純利益は477百万円（前期は純損失3,485百万円）
ネット資金		設備投資の抑制や運転資金削減等により、期首から2,159百万円増加。



# 損益計算書サマリー

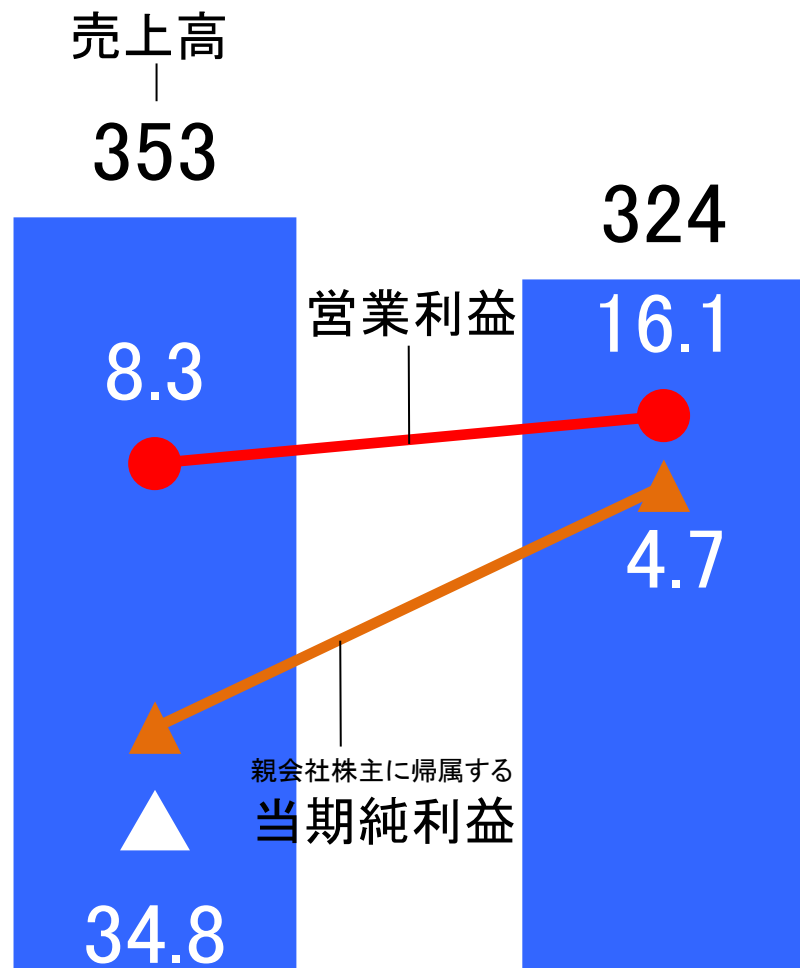
(単位:百万円)

	2020年3月期		2021年3月期		前期差	前期比
売上高		35,348		32,462	▲ 2,886	91.8%
営業利益	2.4%	835	5.0%	1,613	777	193.0%
経常利益	2.0%	712	5.2%	1,676	963	235.1%
親会社株主に帰属する 当期純利益(損失)	-	▲ 3,485	1.5%	477	3,963	-



# 売上高と利益

(単位: 億円)



2020年3月期

2021年3月期

## 【前期比較】

売上高	28	億	86	百万円	減収
営業利益	7	億	77	百万円	増益
純利益	39	億	63	百万円	増益

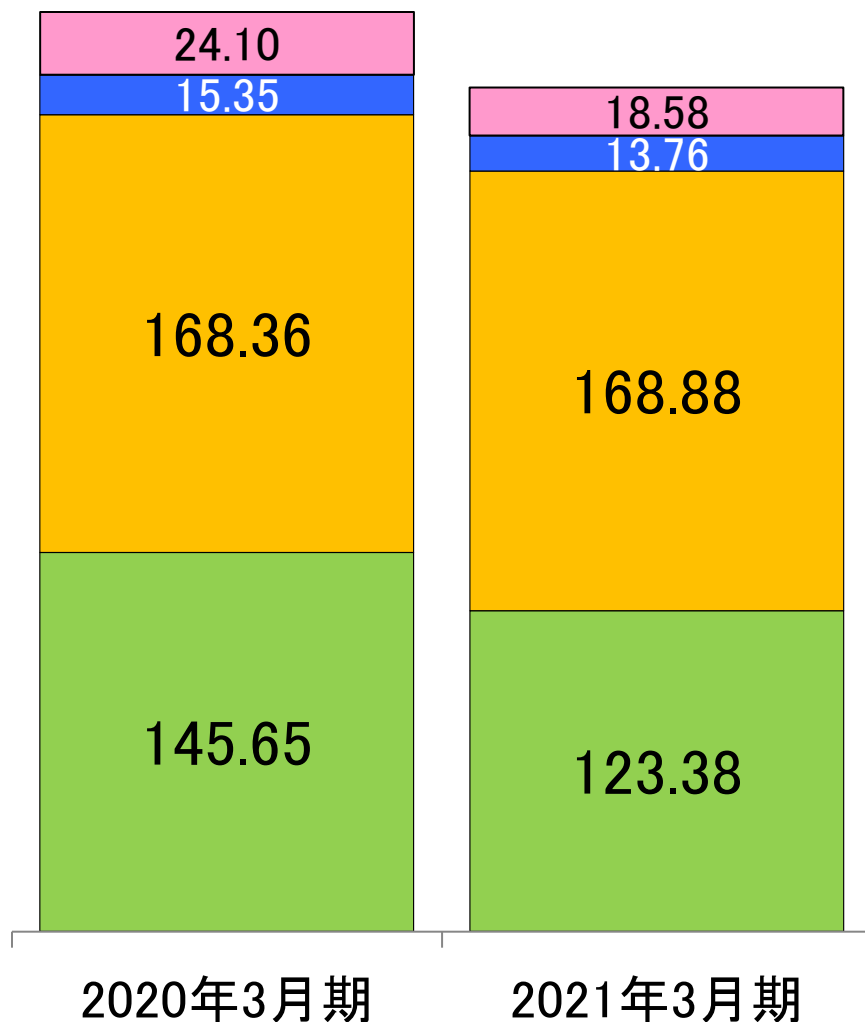
※親会社株主に帰属する当期純利益



# 地域別売上高

(単位: 億円)

中国は堅調を維持して増収



**欧米他** 欧州は4Qに復調気配を見せたが、米州は不調

**東南アジア** 4Qは回復傾向にあるものの、マレーシア以外は低調

**中国** 春節・COVID-19の影響による1Q減収分を、以降、電子部品・半導体の好調でカバー

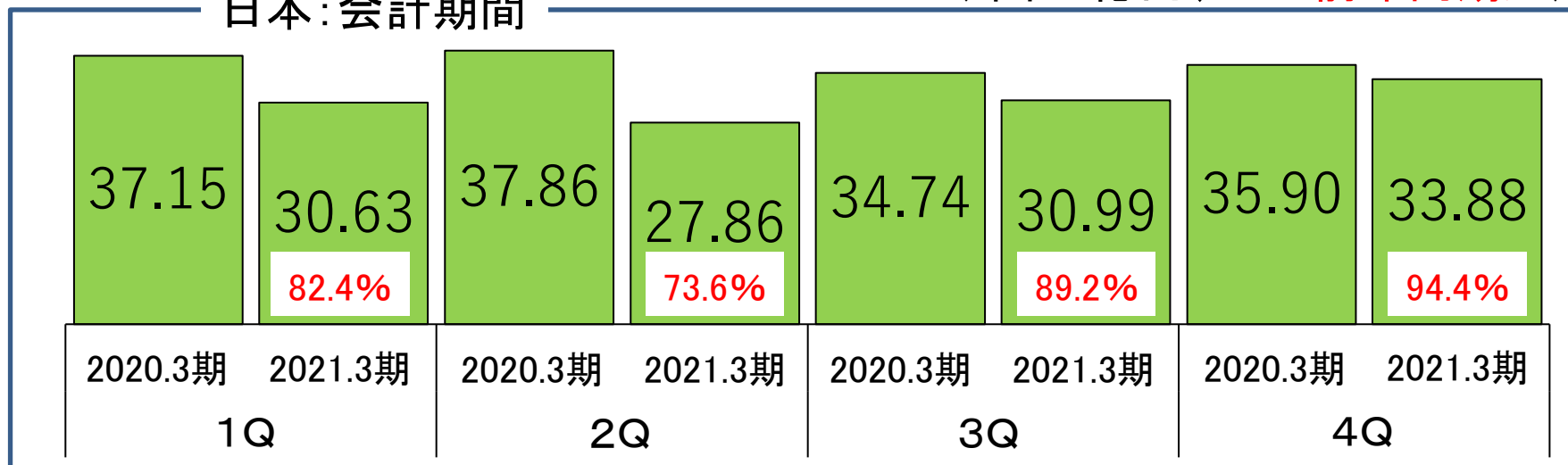
**日本** 自動車関連の低迷が影響大、但し、下期は復調気配



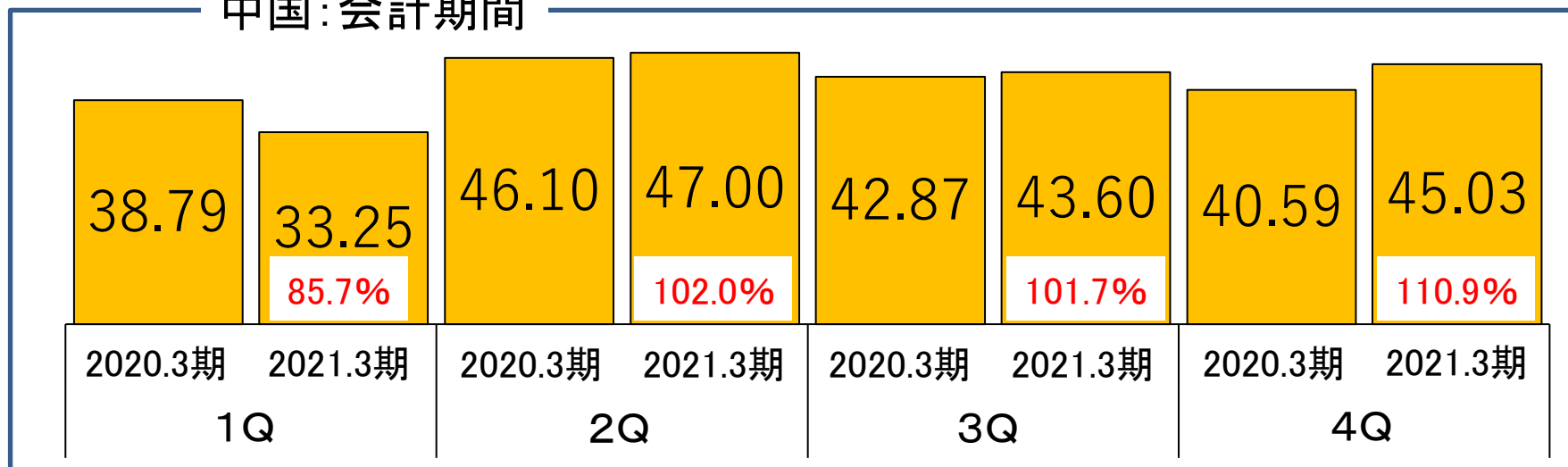
# 地域別売上高(会計期間比較)

(単位:億円、%は前年同期比)

## 日本:会計期間



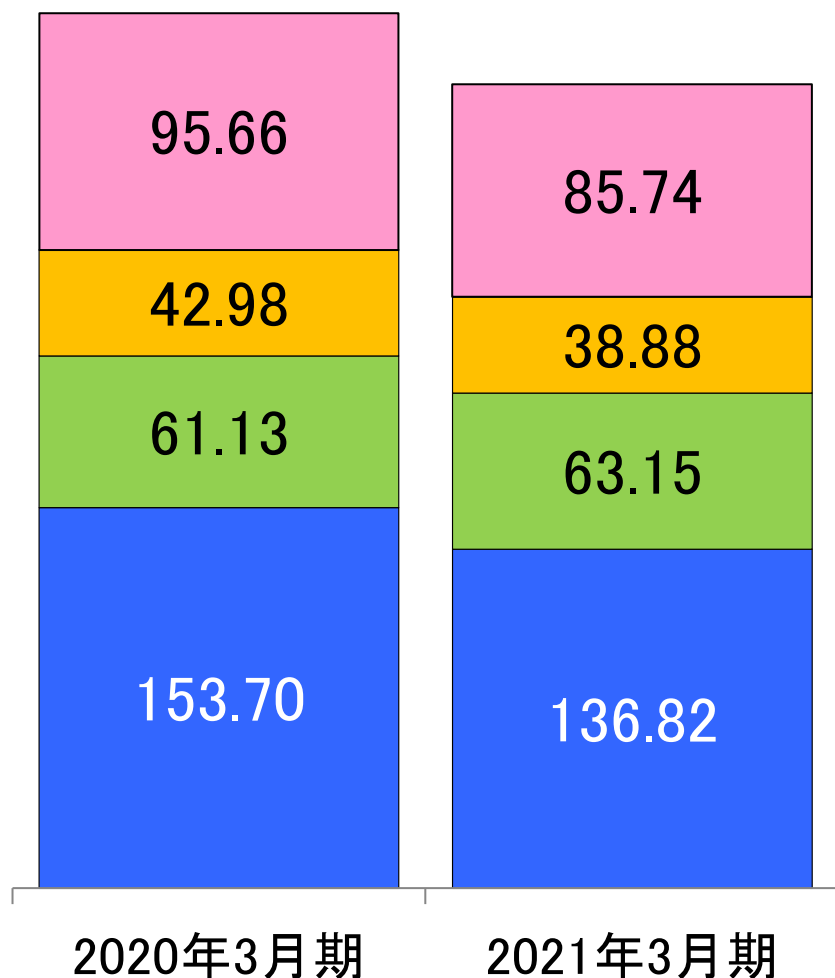
## 中国:会計期間



# 業種別売上高

(単位: 億円)

電子部品・半導体関連が好調を維持



- その他** 医療関連は底堅いが、その他が低調
- 家電・精密機器** 精密機器は低調だが、巣籠り需要でエアコン等が好調
- 電子部品・半導体** 日本でノートPCが好調維持  
中国で5G関連受注が順調
- 自動車** 日本・中国ともに生産台数の減少等の影響大

# 営業利益増減

(単位:百万円)

2020年3月期

835

売上減少  
▲750

原価率改善  
649

前期実績から  
777百万円の増益

販管費減少  
878

2021年3月期

1,613

## 【売上の主な増減要因】

■ COVID-19拡大を背景とした世界経済の停滞から大幅な減収

## 【原価率の主な増減要因】

■ 前期の減損損失計上による減価償却費の減額等が影響  
■ 経営革新プロジェクトの効果

## 【販管費の主な増減要因】

■ グループ全体で販売管理費を抑制  
■ 前期の減損損失計上による減価償却費の減額等が影響





# 貸借対照表サマリー

(単位:百万円)

	2020年3月期末	2021年3月期末	比較増減
総資産	25,576	24,702	▲874
総負債	13,829	12,266	▲1,563
うち有利子負債	6,455	4,997	▲1,457
純資産	11,747	12,436	688
ネット資金	▲3,065	▲905	2,159

自己資本比率	45.8%	50.2%	4.4pt
自己資本利益率(ROE)	—	4.0%	—

設備投資額(無形固定資産含む)	2,011	452	▲1,558
減価償却費(無形固定資産含む)	1,658	968	▲689



# キャッシュ・フローサマリー

(単位:百万円)

	2020年3月期	2021年3月期
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,490	2,942
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲1,788	▲670
フリーキャッシュ・フロー	701	2,272
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲772	▲1,684
現金及び現金同等物の増減額(換算差額含む)	▲150	596
現金及び現金同等物の期末残高	3,366	3,962



# 2022年3月期 施策と通期業績予想

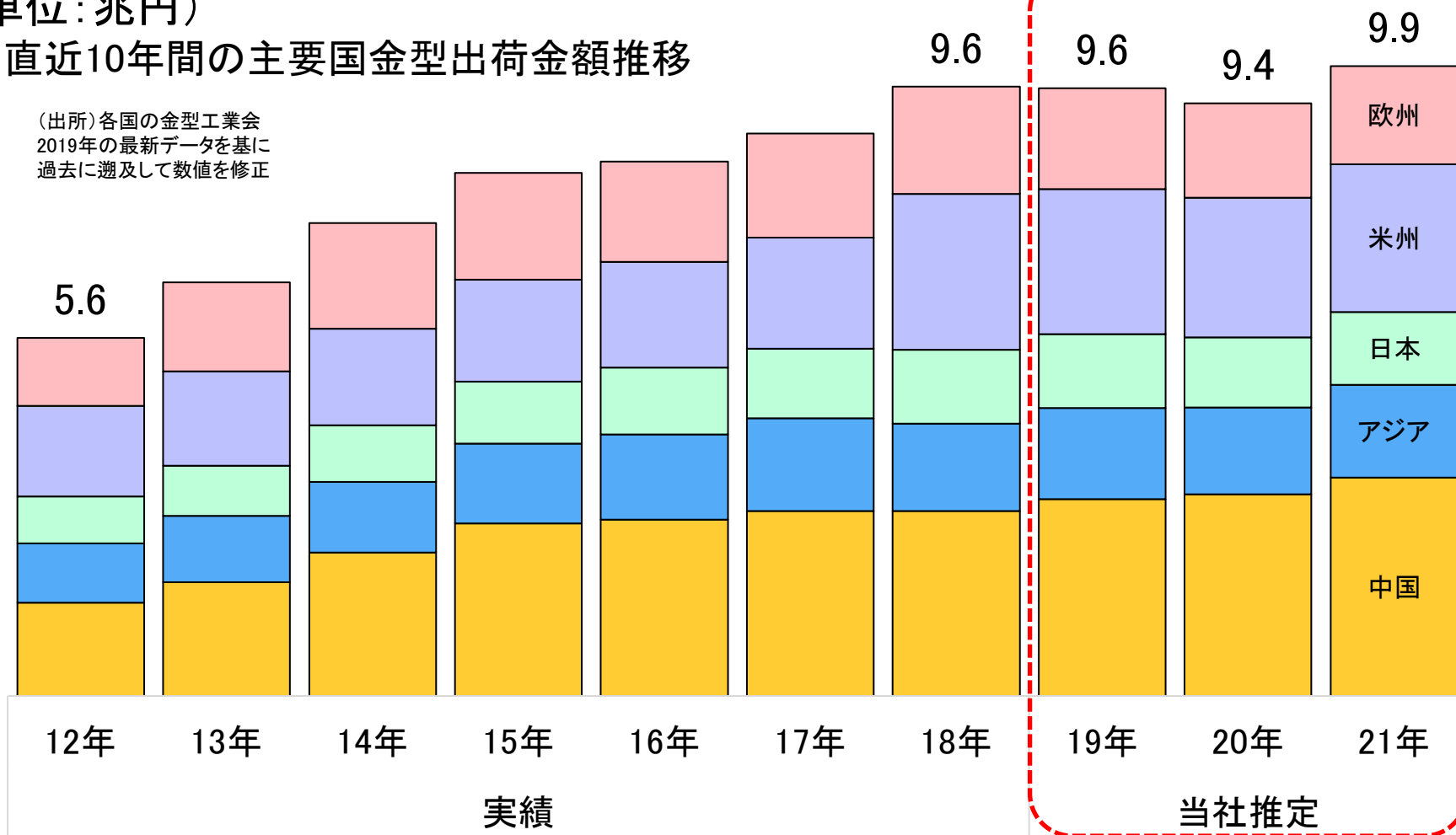
# 金型市場の予想(金額)

COVID-19等による投資抑制から一時的に減少したが回復傾向

(単位:兆円)

直近10年間の主要国金型出荷金額推移

(出所)各国の金型工業会  
2019年の最新データを基に  
過去に遡及して数値を修正



# 重点経営課題と取組み内容

## 販売5極体制の確立

欧州：代理店との連携強化  
米州：インターネット販促強化

## お客様目線を重視 した営業力の強化

失注改善、新規開拓、既存顧客カタログ開拓、WEB見積り検証

## グローバル生産体制 の最適化とR&D強化

グループ内での生産移管の継続、  
生産効率改善による仕損費の削減、  
工法改善と加工能力拡充の継続

## 働き方改革 と人材育成

女性活躍に関する会社方針策定、  
海外人材ローテーション及び人材教育  
の仕組み作り

# 経営革新プロジェクト(日本)

営業

データ収集

分析

戦略立案・検証

受注率UP

失注理由分析

対象選定

休眠先の復活

休眠理由分析

拠点目標設定

大手攻略

対象選定

組織化

原価低減

流れ・段取り分析

多台持ち・稼働率改善

製造

見積りの強化

見積りの標準化

見積りレスポンス向上

品質改善

仕組みと技術力

失敗コスト撲滅

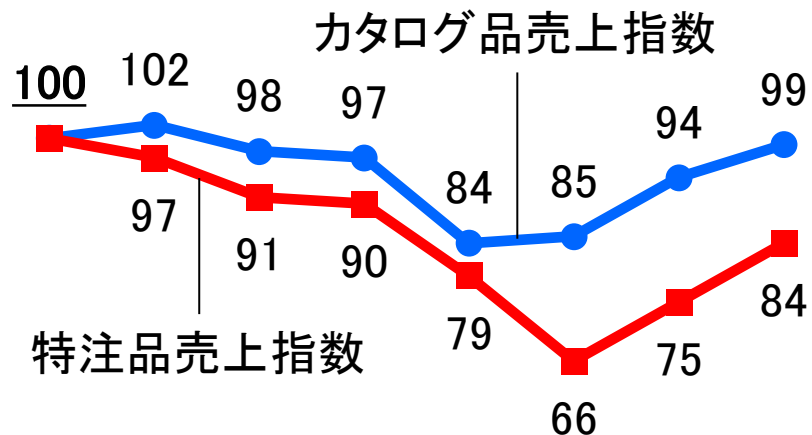
購買再構築

戦略的取引先構成

新規取引先開拓



# 日本事業の概況



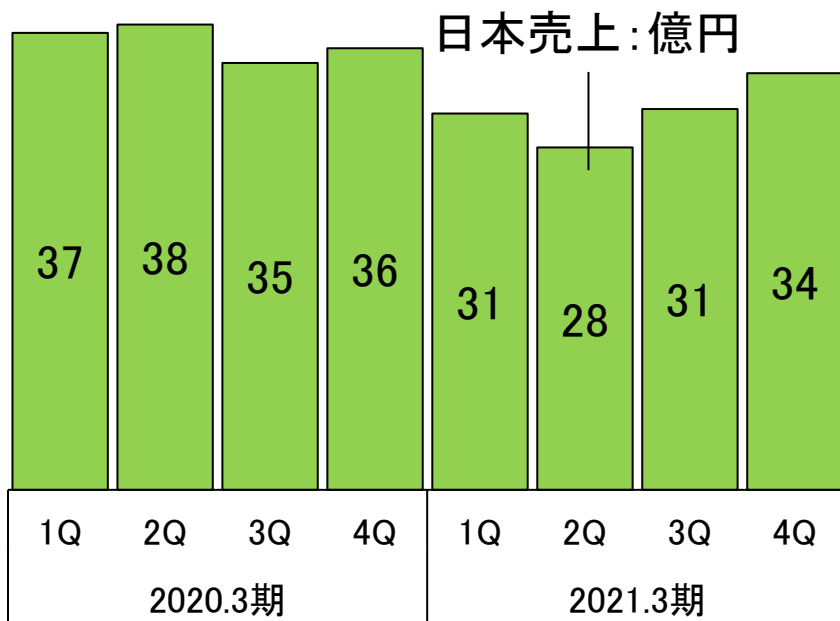
■ 20.3期1Q売上を指数100としてグラフ化

■ カタログ品は前年並みまで回復

■ 特注品も回復傾向が続く  
 ⇒当初はパンチグループへ外注していたが、自社工場稼働率維持のために内製化に舵を切った顧客が、「ものづくり」需要の回復にともない、パンチグループへの外注に回帰中

■ 当社内での取組み

⇒経営の立て直しの中長期経営計画である「バリュークリエーション2020Plus」の最終年度として、引き続き、受注回復の取組みを強化



# 2022年3月期 業績及び配当の予想

(単位:百万円)

	2021年3月期 (実績)		2022年3月期 (予想)		前期差	前期比
売上高		32,462		36,500	4,038	112.4%
営業利益	5.0%	1,613	6.0%	2,200	587	136.4%
経常利益	5.2%	1,676	5.9%	2,150	473	128.2%
親会社株主に帰属する 当期純利益	1.5%	477	4.0%	1,450	972	303.5%
自己資本利益率 (ROE)		4.0%		11.1%	7.1pt	

2022年3月期  
配当予想

8円 = 中間 4円 + 期末 4円





心はちやぶれ!!



パンチスピリット

■ 他社がやれない・やらないことに  
チャレンジする

■ お客様にとっての第一候補である  
ブランドに成長する

■ 金型部品業界でのトップブランドを  
目指す

■ ステークホルダーの皆様の  
期待に応える

# 参考資料



# 会社概要

会社名	パンチ工業株式会社
本社所在地	東京都品川区南大井6丁目22番7号
設立	1975年3月
資本金	28億9,773万円
従業員数	4,006名(グループ連結、2021年3月末現在)
生産拠点	北上工場(岩手県北上市) 宮古工場(岩手県宮古市) 兵庫工場(兵庫県加西市)
グループ会社	株式会社ピンテック(山形市) 盤起工業(大連)有限公司(中国) 盤起工業(瓦房店)有限公司(中国) 盤起工業(無錫)有限公司(中国) 盤起工業(東莞)有限公司(中国) 盤起工業(東莞)有限公司(中国) 盤起工業(東莞)有限公司(中国) 盤起工業(東莞)有限公司(中国) 盤起工業(東莞)有限公司(中国) 盤起工業(東莞)有限公司(中国) PUNCH INDUSTRY INDIA PVT. LTD.(インド) PUNCH INDUSTRY MALAYSIA SDN. BHD.(マレーシア・ペナン) PUNCH INDUSTRY SINGAPORE PTE. LTD.(シンガポール) PUNCH INDUSTRY VIETNAM CO. LTD.(ベトナム) PUNCH INDUSTRY MANUFACTURING VIETNAM CO. LTD.(ベトナム) PT. PUNCH INDUSTRY INDONESIA(インドネシア) PUNCH INDUSTRY USA INC.(米国)



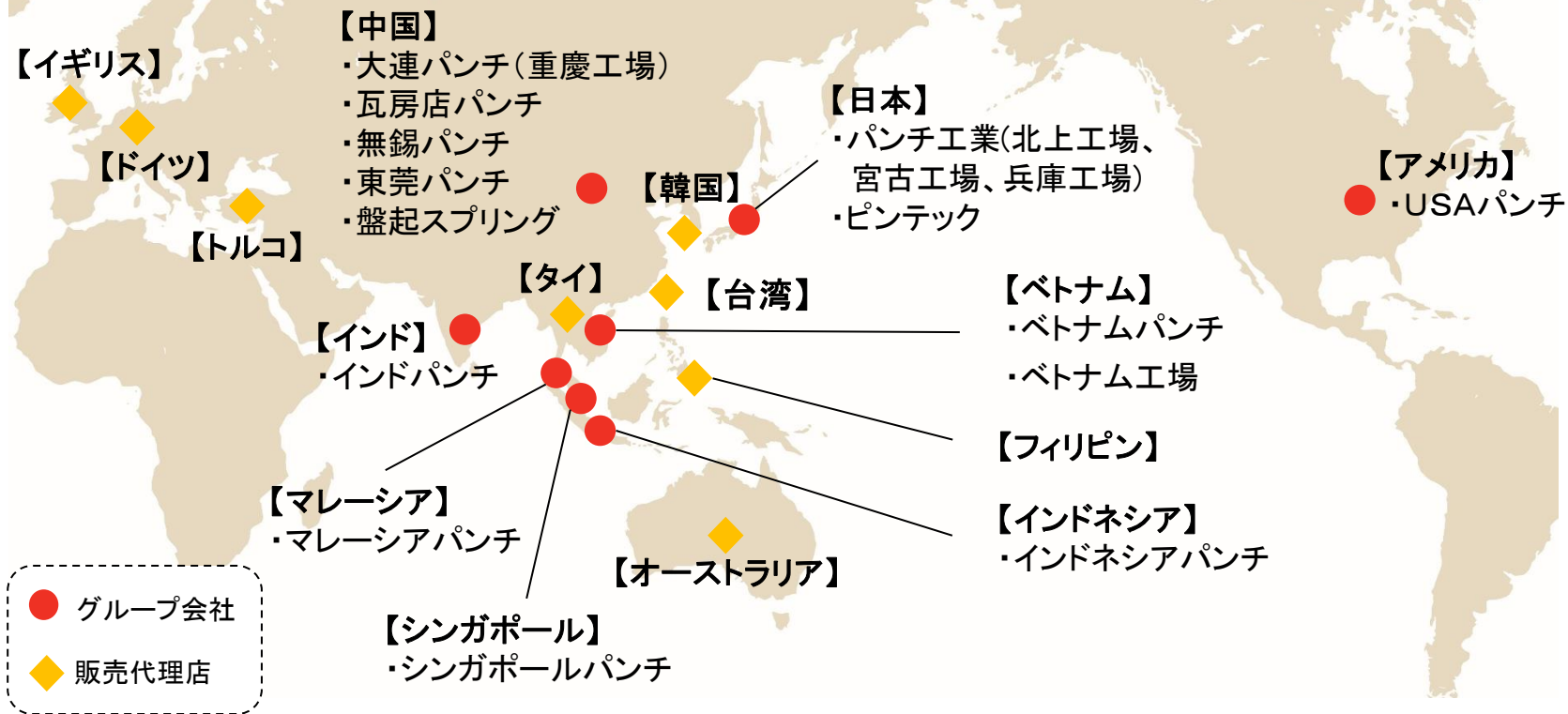
# パンチグループのネットワーク

## 生産拠点数

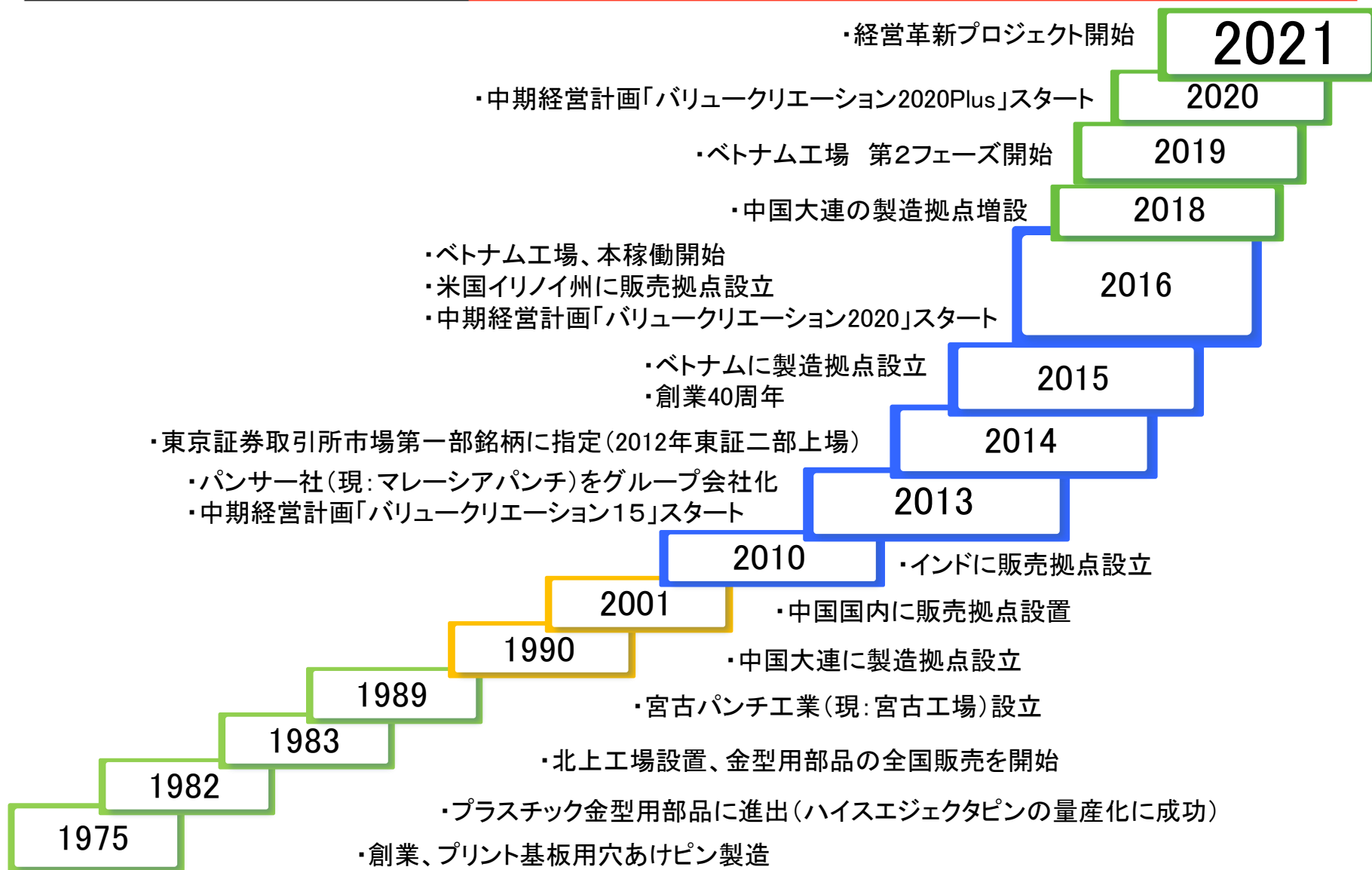
日本	海外
4	8
カ所	カ所

## 販売拠点数

日本	海外
11	40
カ所	カ所

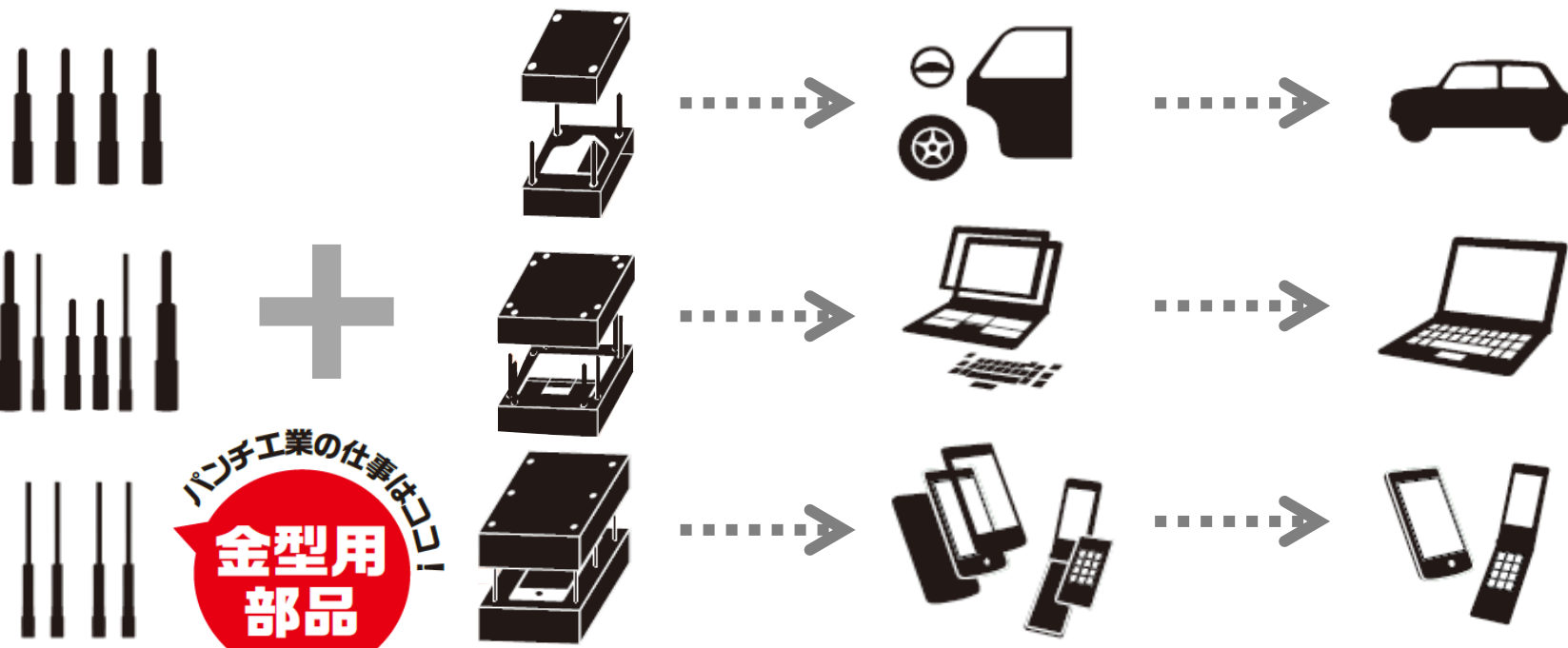


# 沿革



# 事業内容

金型を構成するために、なくてはならない多種多様な精密部品の製造・販売



たとえばこんな部品



## 金型

構成部品を速く、均一に、大量につくるための金属でできた「型」

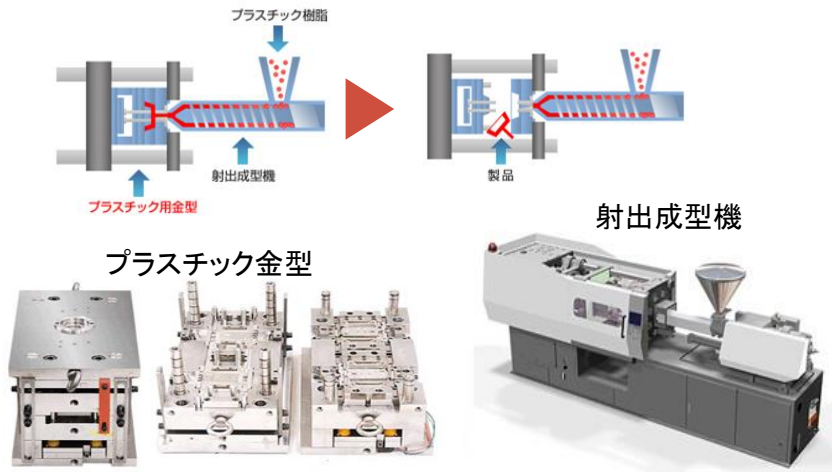
## 構成部品

製品を構成するために必要となるパーツ

## 製品

自動車や家電など私たちが身近で使うさまざまな製品

# プラスチック金型と金型用部品



エジェクタピン



スプルーブシュ・ロケートリング

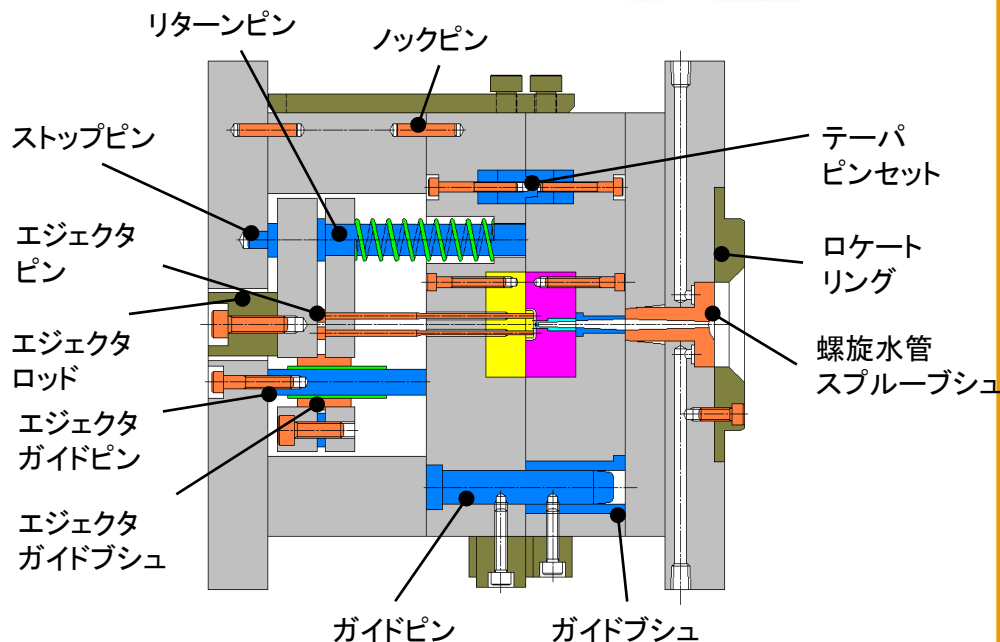
## ●プラスチック金型用部品について

プラスチック金型とは、携帯電話やデジタルカメラの外装など、多くのプラスチック製品の製造に用いられる金型であり、加熱溶融したプラスチック樹脂を、射出成型機に実装された金型に注入し、冷却、固化することにより製品が作られております。

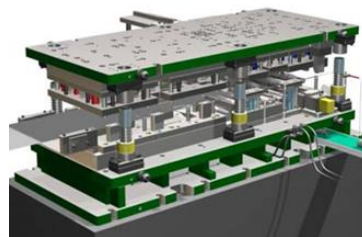
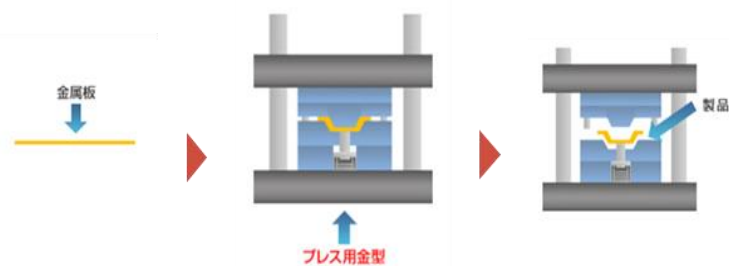
当社グループでは、広範なプラスチック製品の射出成型用金型に組み込まれるエジェクタピン、スプルーブシュ等のプラスチック金型用部品の製造・販売を行っております。

**エジェクタピン**・・・ 成型品を金型から離し、突き出すための部品

**スプルーブシュ**・・・ 射出成型機の射出ノズルから溶融したプラスチックを金型へ流し込むための部品



# プレス金型と金型用部品



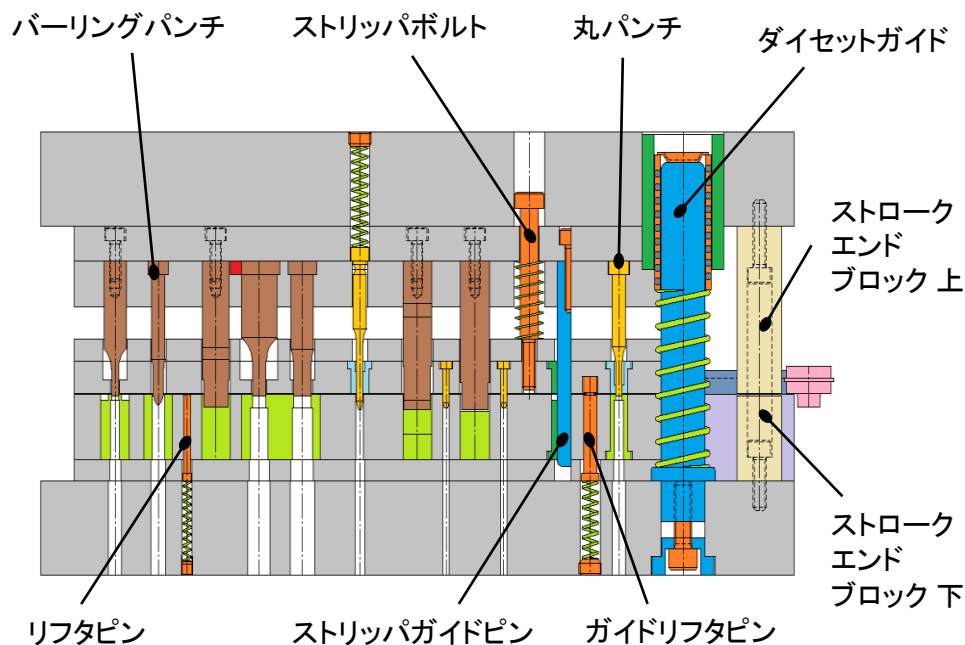
プレス金型



パンチ



ダイセットガイド



## ●プレス金型用部品について

プレス金型は、プレス機(上下運動する機械)に金型を装着し、上下に分かれた金型の間に材料(金属の鋼板)を入れ、プレス機を稼働することにより、金型で型どられた製品が出来上がります。

当社グループでは、自動車、家電、精密機器などを大量生産するために必要な、プレス加工で使用される金属の鋼板を打ち抜く際に使用するパンチ・ダイ部品、金型の上下の動きを保持するガイド部品等のプレス金型用部品の製造・販売を行っております。

- パンチ…………… パンチは材料に推しつけて使われる工具で、通常はダイと対で使われ、材料に穴をあけたり、形状を転写する部品
- ダイセットガイド… 上型と下型の関係を正しく保つために使用する部品





## お客様に高い満足度を提供



### カタログ品

汎用性の高い標準製品を  
豊富にラインナップ

タイムリーで的確な  
ソリューション

### 特注品

カスタムニーズにも  
柔軟に対応



### 一気通貫の生産体制

2,000台以上の設備で幅広い対応力

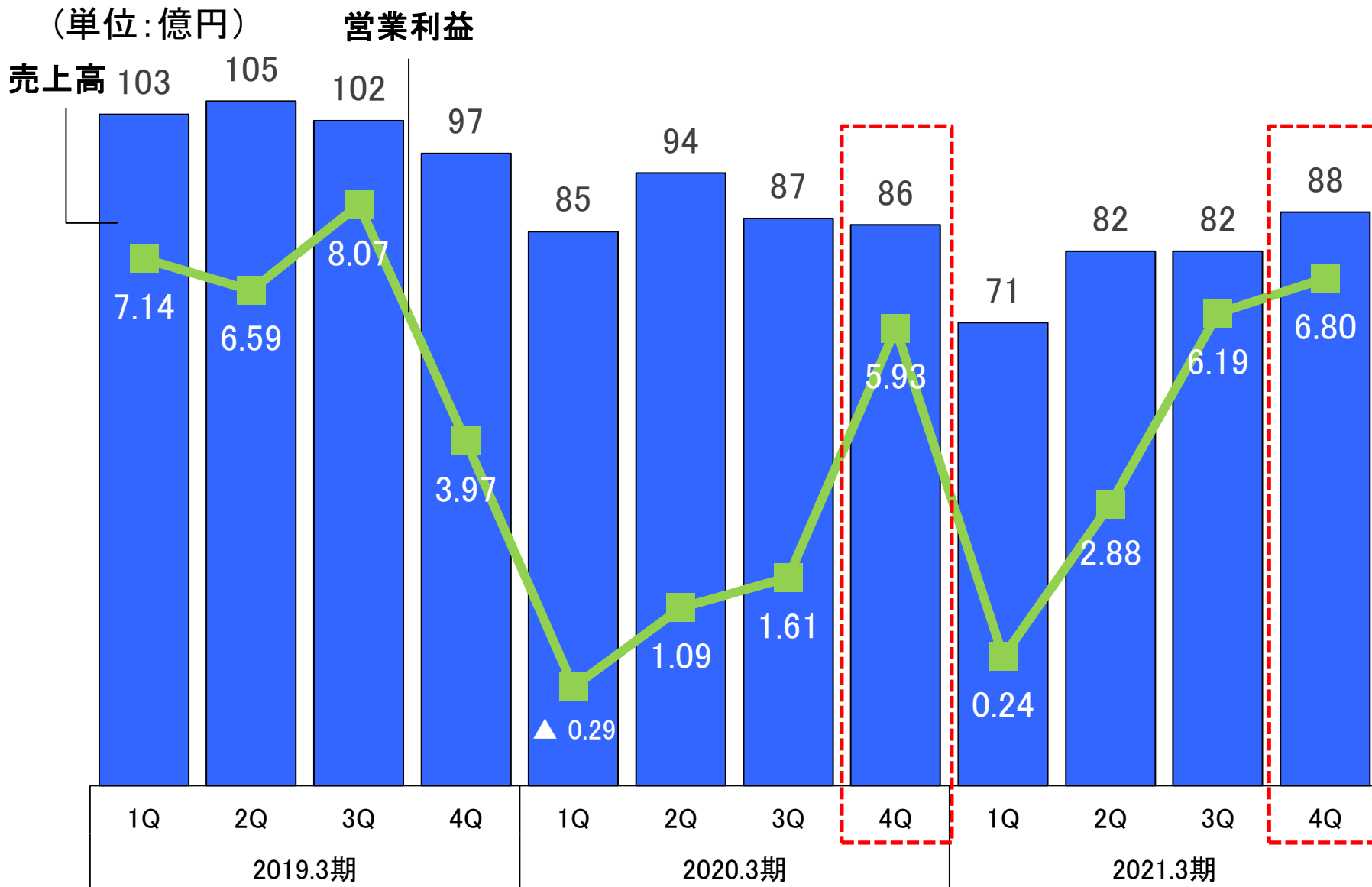
### お客様密着型の営業体制

きめ細かな対応・提案力

### 高い技術力

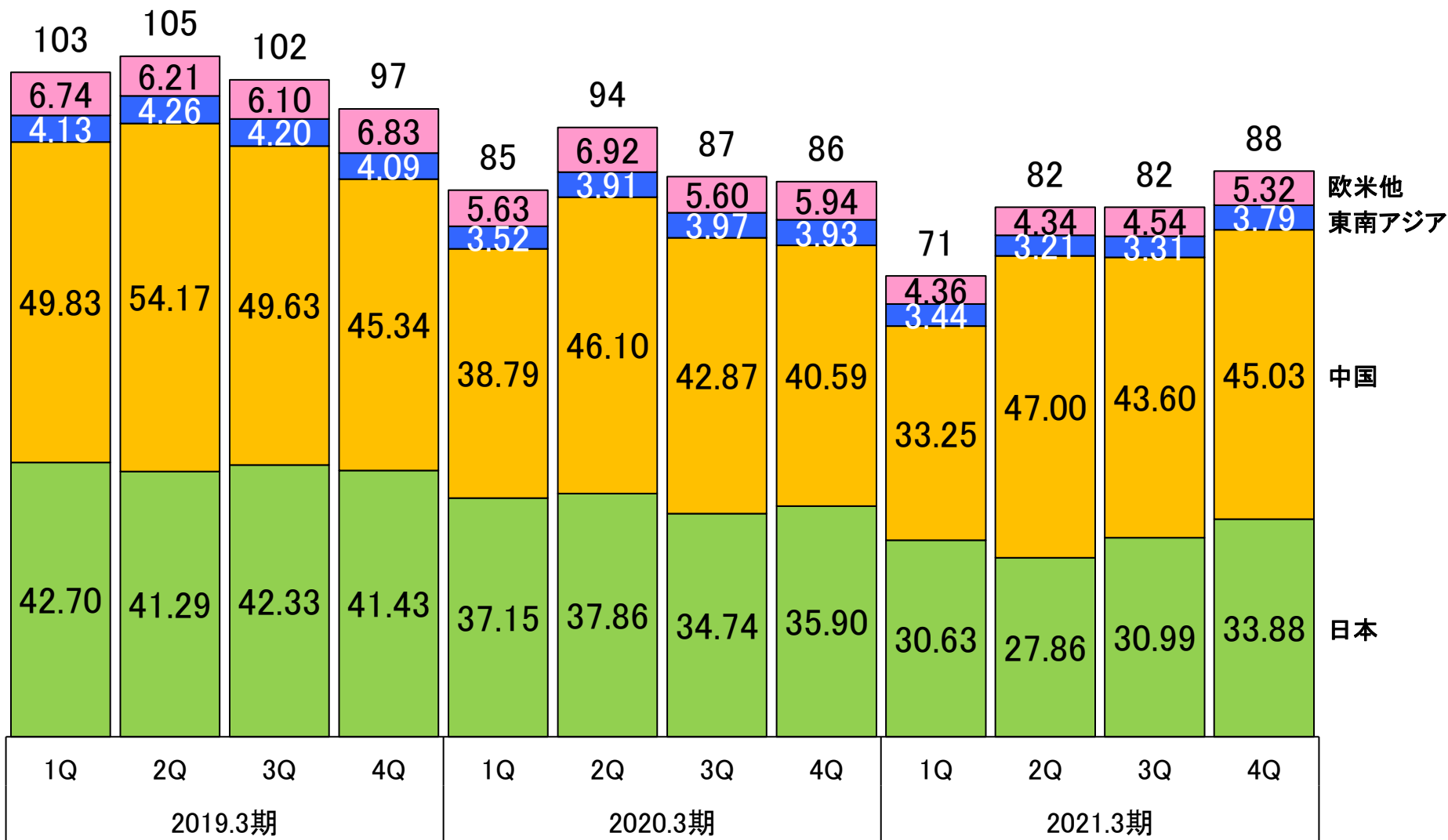
創業以来培ったノウハウとたゆまぬ研究開発

# 売上高と営業利益の推移



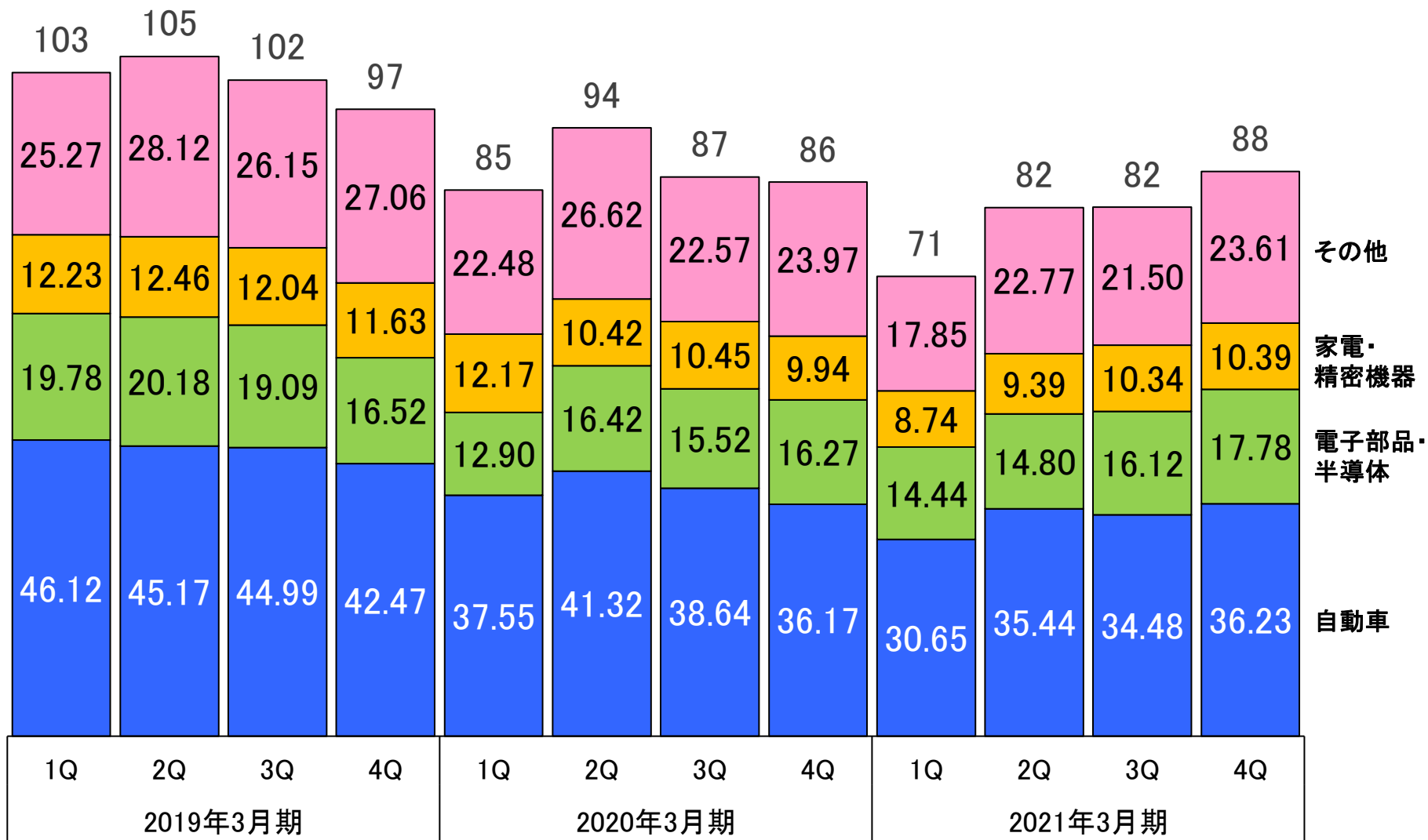
# 地域別売上高

(単位: 億円)



# 業種別売上高

(単位:億円)



# CSR経営と企業ビジョン

## CSR経営

世界のものづくりを支える企業であり続けるために  
CSR経営を実行しています。

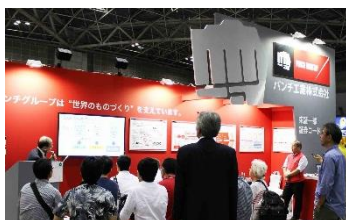
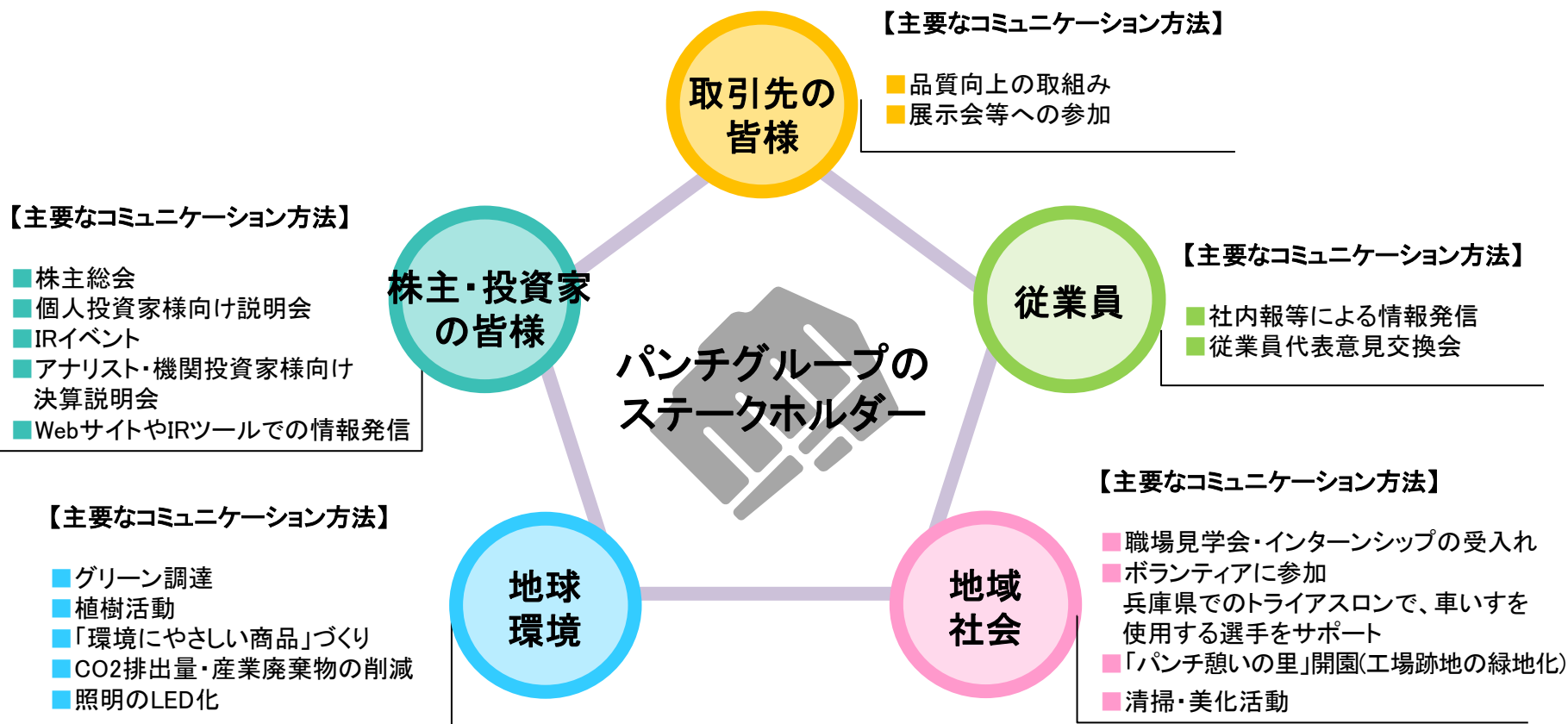
## 企業ビジョン



## 世界のパンチへ

金型部品業界での  
トップブランドを確立し  
製販一体企業としての  
優位性を活かした  
高収益企業を目指す

# ステークホルダーとのコミュニケーション



IRイベント出展



「パンチ憩いの里」開園  
(工場跡地の緑地化)



職場見学会



ボランティア活動  
(2019年トライアスロンin加西)



【IRに関するお問い合わせ先】 パンチ工業株式会社 経営管理室 広報課 電話:03-5753-3130 e-mail:info-corp@punch.co.jp

#### 【将来見通し等に関する注意事項】

本資料につきましては投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。

本資料における、将来予想に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。また、将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識された上で、ご利用ください。

また、業界等に関する記述につきましても、信頼できるとされる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。

本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、お客様ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任は負いません。